

# 福島県少年自然の家

## 第1節 概要

「よく遊び、かつよく学べ」の教育理念のもとに設立された少年自然の家は、集団宿泊生活を通して、体験的な学習と自然に親しむ活動によって、豊かな心情と体力を養い、心身共にたくましい少年を育てる目的としている。また、少年自然の家は家庭教育、学校教育、社会教育がもつ、それその機能を統合した教育施設であり、したがって、

- みんなと協力し、助け合い、励まし合う人間（社会性と連帯感を養う）
  - 自然を愛し、豊かな心を持つ人間（情操と創造性を養う）
  - 体力を高め、健康を増進して、働くことに喜びを持つ人間（健康な心身と実践力を養う）
- の育成を教育目標に掲げ、その達成に努めている。

## 1 運営委員会

所長の諮問機関である運営委員会の開催状況は、次のとおりである。

### (1) 第一回運営委員会（昭和54年7月21日開催）

- ・事業実績報告
- ・本年度利用申込み状況
- ・施設整備計画
- ・新しい研修活動

### (2) 第二回運営委員会（昭和54年11月17日開催）

- ・事業実績報告
- ・学校利用申込み状況
- ・工事進捗状況
- ・当初予算要求概要
- ・利用の促進

### (3) 第三回運営委員会（昭和55年3月13日開催）

- ・事業実績報告
- ・利用実績報告
- ・施設設備整備状況
- ・利用申込み状況
- ・昭和55年度運営方針
- ・重点事項
- ・主催事業

なお、運営委員会の委員は次の通りである。

氏名	役職名
今井清吉	福島県市町村教育委員会連絡協議会長
江花完爾	福島県議会商工労働文教委員会副委員長
●太田緑子	福島県青少年教育振興会長 (太田綜合病院副理事長)
菅野健	福島県小学校長会副会長 (郡山市立金透小学校長)
菅野久俊	福島県PTA連合会長
国馬善郎	郡山女子大学専任講師
○佐久間俊隆	郡市教育委員会教育長
斎藤正国	郡山市立郡山第一中学校長
武田守	福島県公民館連絡協議会長 (福島市飯坂公民館長)
森永薰	福島県子ども会連合会顧問

アイエオ順 ●印議長 ○印副議長

## 2 昭和54年度重点目標と成果

### (1) 研修活動の充実

利用団体との一体化を基調に連携を密にしながら指導援助をすると共に、研修活動の開発や活動プログラムの工夫及び指導資料の整備充実によって、効果的に研修活動を進めることができる。

また、研究協力校へ当面する課題について調査研究を依頼し、その成果を所の運営改善や利用団体への参考資料として活用することができた。

### (2) 施設設備の充実と保全

ロッジ2棟が増築されたために、大規模校や複数団体の同時受入れが可能となり、積極的な利用促進を図ることができた。

地下配管工事により暖房効率が一段と向上し、冬季の快適な宿泊生活ができるようになり、また、内壁塗装によるブルの新装も喜ばれている。

### (3) 広報活動の強化

計画的な所報の発行（年4回）や各種の広報活動により、施設の紹介や利用の促進に努めた結果、各層にわたる見学団体及び利用団体の増加をみた。

### (4) 主催事業の効果的な運営

当所を利用する団体指導者を対象に、効果的な利用と理解を深めるための研修会を開催し、また、野外活動を中心とした指導者研修会を「基礎」と「応用」の二講座に分けて実施し、それぞれ青少年教育指導者の養成を図った。

「親子のつどい」を年4回実施し、各回とも県内各地より多数の参加があり、親子および家族相互の親睦を深めることができた。

## 3 職員組織

職名	所長	次長	主事	社会教育主事	指導主事	用務員兼運転手
人員	1	1	2	1	4	1

## 第2節 施設・設備の概況

### (1) 位置

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山54

### (2) 敷地面積

約330,000m<sup>2</sup>

### (3) 建物

#### ① 本館

鉄筋コンクリート2階一部平屋建

延べ面積 1,578.67m<sup>2</sup>